



業界研究セミナー開催報告

2013年度のM&Aを語る

講師 大山 敬義 様(株式会社 日本M&Aセンター 常務取締役)

業界知識の習得とコンサルタントの質の向上を目的とした、人材協主催の「業界研究セミナー」。

今回は、株式会社日本M&Aセンター 常務取締役の大山敬義様を講師に迎え、「2013年度のM&Aを語る」と題して開催しました。創業メンバーの一人である大山様のお話は具体的で非常に納得性がありました。特に日本M&Aセンター様が求める、“へんちくりんな趣味でこだわりを持った人”、“ロマンとソロバン”のくだりは笑わせました。



講師の大山様

公表されている資料によると、日本企業が当事者となるM&Aの件数は、2006年をピークに減少傾向にあります。しかしながら、国内の10億円未満のM&Aについては、2012年上期では、過去最高の割合となっています。その理由はなぜなのか。国内のM&Aの現状と今後の展望を解りやすく解説していただきました。

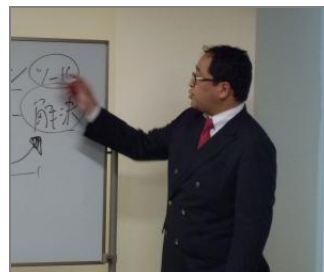
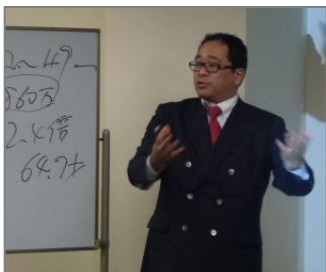
【資料より抜粋(一部)】

- 2極に分化する日本のM&A
- 全く違う2つのM&Aの世界
- 中小企業のM&Aの世界
- なぜ企業は譲渡の道を選ぶのか/買収の道を選ぶ企業はなぜ増えたのか
- M&Aアドバイザーの仕事について

ここ数年、M&Aに対する意識は大きく変わってきており、事業の承継や拡大における有効なソリューションとして認識されるようになってきました。同社の事例や実績が、それを物語っています。M&Aの実際を理解すると、企業の見方も変わってくるのかもしれませんが。

今後も人材協では、職業紹介に携わる方々にとって有益な情報を提供させていただくとともに、実務に役立つ内容のセミナーを企画・開催してまいります。

【当日の様様】



開催日時: 2013年1月29日(火) 15:00~17:00

会 場: 一般社団法人日本人材紹介事業協会 会議室(東京都港区)